

【令和6年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立高齢者いきいの家	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市岸部中1-24-11	設置年月日	昭和63年1月22日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を提供し、高齢者の相互交流と社会参加を促進するとともに、高齢者の自立支援を図り、もって高齢者の福祉の増進を図ること。		
(2)規模、開館日等	【設備等】 部屋：和室、洋室、多目的ホール 設備：カラオケ機器、マッサージ機、囲碁・将棋、運動機器等	【開館日等】 開館日：月～土曜日午前9時～午後5時30分 休館日：日曜日、祝・休日、12月29日～1月3日	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	労働者協同組合法人ワーカーズコープ・センター事業団 (R5.4.1に法人名変更、変更前は「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」)					
(2)指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内容	1 高齢者の健康増進、教養向上等のための場の提供、講座の実施。 2 高齢者の交流、社会参加の促進、高齢者の福祉増進に関する事業の実施。 3 施設の使用申請・許可。 4 施設の備品、設備等の管理。					
(5)指定管理者 の収支			令和5年度		令和6年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	委託料 (円)	16,186,000	16,186,000	16,186,000	16,186,000
		自主事業 (円)	183,879	157,521	217,199	148,713
		その他 (円)	0	0	497,952	0
		合計 (円)	16,369,879	16,343,521	16,901,151	16,334,713
	支出	管理経費 (円)	16,232,779	15,767,492	16,683,952	16,186,000
		自主事業 (円)	84,200	79,630	147,000	91,499
		合計 (円)	16,316,979	15,847,122	16,830,952	16,277,499
	収支差額 (円)		52,900	496,399	70,199	57,214

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和5年度		令和6年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用者数 (人)	12,000	12,156	12,500	12,726
2	開所日数 (日)	293	292	295	292
3	1日平均利用者数 (人)	41.0	43.3	42.4	43.6
4	主催講座 開催回数 (回)	119	130	140	146
5	自主事業 開催回数 (回)	93	105	88	98

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	年1回の利用者アンケート、講座参加者のアンケート(随時)、利用者との日頃の会話、利用者懇談会、目安箱で把握している。
(2)把握結果	おおむね満足との結果だった。特に職員の対応について約9割が満足と回答、講座の種類及び内容については約8割が満足と回答があった。
(3)結果を受けての対応状況	アンケートでは満足・不満な点のほか、生活の中で困っていることを聞き取る項目を設けている。生活の中で困っていることは「食事作り」や「スマホ」、「仲間作り」が多数を占めており、その内容に対応すべく、スマホ講座やごはんとスープの会といった講座を開催するとともに、サークル活動を促進している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	設置条例・施行規則等を遵守し、使用許可を行っている。 ヘルストロンが混みあった場合は時間制限を設けるなど、平等な利用の確保に努めている。 人気講座においてキャンセル待ちの方は、次回の講座募集で優先的に参加できるように配慮し、公平な受講の機会を得られるようにしている。 窓口には「耳マーク」を設置するなど障がいがある方にも開けた施設になっている。
(2)施設の効用の発揮	日頃の会話、アンケート等でニーズを把握しており、講座の内容等に反映している。利用者アンケートはおおむね満足の結果。講座をきっかけに、高齢者の外出促進や生きがいがづくり、教養の増進に繋がっている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	事業担当者を2名以上配置し、利用者に対し綿密に対応できている。また、職員会議で次年度の事業計画や予算を協議する際、どのように予算を工面し、原価率を低く抑え、事業を多く展開できるかを念頭に置き、職員一人ひとりの意見を取り入れている。
(4)施設の管理経費の縮減	環境対策指針を策定し裏紙の使用、電灯の間引き等の節電や節水、コンポストによるごみの堆肥化等を行い、環境対策とともに管理経費の縮減を行った。
(5)その他	人気の講座を定番としつつも、毎年度新たな講座を展開している。座学だけでなく、畑の作物を収穫し調理するなど体験型の講座もあり、バリエーションが豊富である。 内部管理については、事故防止や個人情報保護のマニュアルを多数整備しており、あらゆる事由に備えられるようにしている。 利用者からも運営に対しおおむね満足と評価され、令和2年度から指定管理で運営を行っているが、毎年利用者数を伸ばしている。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。管理面(業務日誌や規程等)、サービス面(利用者対応、講座展開)のいずれにおいても、綿密であり、職員の心配りが行き届いていた。 人気の講座を定番としつつも、利用者の声や社会のニーズを反映した新たな講座を展開している。 利用者数が毎年増加している点、利用者の満足度が高い点から、利用者のニーズを適切に把握し、相応しいサービスを提供できていると評価できる。